

永耕会だより

創刊号（永耕会紹介号）

- 理事長挨拶
永耕会の理念／基本方針
- 各事業所の紹介
- パン工房・ホームページご案内



掲載されている利用者の写真に関しては、
ご本人・ご家族の了承を得ております。

社会福祉法人 永耕会
小田原市曾我岸 148 TEL0465-42-2268
発行者 理事長 長谷川隆三
編集 永耕会広報委員会

- 永耕園（障害者支援施設）
- 光海学園（福祉型障害児入所施設）
- デイセンター永耕（障害者日中活動支援）
- ういず（相談支援センター）
- 永耕会ホーム（共同生活援助）



理事長 挨拶

社会福祉法人永耕会理事長

長谷川 隆三



永耕会の理念／基本方針

1. 永耕会の理念

- 人権を尊重する福祉サービスの提供に努めます
- 質の良い福祉サービスの提供に努めます
- 心温かい福祉サービスの提供に努めます

2. 永耕会の基本方針

貧しさや震災など、さまざまな理由で大切な家族と住むことができなくなった障がいを持つ児童を保護する家として、光海学園は昭和29年開設されました。これが私たち永耕会の原点です。

- 永耕会倫理綱領を職員の人権、行動規範とします
- 常に研鑽に努め、誠意を持って障がい児者福祉に取り組めます
- 地域における責務を認識し、福祉活動、公益的活動に努めます
- 意思決定支援を進め、障がい児者の望む暮らしの実現、社会参加に努めます
- 人材の育成に努めます
- 社会福祉法人としての健全な福祉経営に努めます

皆様には、平素より永耕会の活動にご理解・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、令和元年6月の理事会で、理事長の大役を仰せつかることになりました。

前任の長谷川行洋理事長時代には、20余年にわたり数度の再整備事業を推進され、しっかりとした事業基盤ができあがっています。しかし、社会保障と税の一体改革の中で、障がい者福祉の分野でもルール改正が今までにないスピードで進行中です。その変化に合わせて、私たちも変わって行かなければなりません。

利用者と直接接している第一線の職員や、ご家族、地域のご意見を伺いながら、この変革期を乗り越えていきたいとおもいます。私は、隣接する公益財団法人積善会の理事長をつとめております。積善会グループとの連携を更にすすめ、微力ながら、永耕会の発展に貢献していく所存です。前理事長同様のご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

永 耕 園 障害者支援施設



施設長(兼務)
河辺邦夫

平成28年2月、昭和58年建築の古い園舎を国県の施設整備補助金を受け大規模修繕工事を行い、バリアフリー、個室化と共に耐震強化を行いました。現在、男性50名、女性25名の75名が生活しています。平均年齢53.3歳と入居者の高齢化が進んでいますが、毎日日中の活動、外出などを楽しみにしながら穏やかな自分らしい生活を送っています。希望する暮らしを実現していく事が永耕園の願いです。

◇希望に基づく旅行を実施！



◇機織り作品で小田原市美術展覧会
市展市長賞と教育委員会賞にW入選！

施設入所支援：定員75名 生活介護：定員90名
Tel:0465-42-2268

永耕園の支援 <支援目標>

－100人100通りの支援を目指して

☆永耕園は4つの理念を柱に支援を進めます。

- ◎利用者の基本的人権を保障する支援
- ◎一人一人にあった個別的な支援
- ◎自分で選び、自分で決める本人主体の支援
- ◎地域社会の中で暮らす為の支援

◇年齢（令和4年4月1日現在）
20歳から92歳の方が入所
平均年齢53.3歳

◇入所者のうち67名は、県西地区2市8町から

◇一日の日課

7:00 朝食
10:00 日中活動
12:00 昼食
13:30 日中活動
15:30
18:00 夕食

<日中活動>

機織り、ボールペンの組み立て作業など7つのグループ



平日、児童はそれぞれの学校に通学しています。園全体の行事、土・日曜・祝日の行事、誕生会、グループ外出、買い物学習などに加えて学校行事と実に多彩です。

入所児童の生活：日課の略図

時間	小学生 下曽我小	中学生 千代中	養護学校 通学	養護高等部 自力登校	土・日・祝日
6:00	起床	起床	起床	起床	
7:00	朝食(7:00) 登校(7:45)	朝食(7:20) 登校(7:45)	朝食(7:40) 登校(8:30)	朝食(7:00) 登校(7:30)	起床 朝食(7:40)
8:00					
9:00					小行事 レクリエーション
10:00					
11:00					グループ外出 他
12:00					昼食
13:00					身辺整理
14:00	放課帰園 身辺整理 掃除	放課帰園 身辺整理 掃除	放課帰園 身辺整理・掃除		グループ外出
15:00					おやつ
16:00	おやつ 自由時間	おやつ 自由時間	おやつ 自由時間	帰園 身辺整理 おやつ 自由時間 夕食	自由時間
17:00					
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
19:00	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
20:00	就寝				
21:00		就寝			就寝(小)
22:00			就寝	就寝	就寝(中)
23:00					就寝(高)

光海学園 障害児入所施設

入所：定員30名
Tel:0465-42-1639



園長 佐藤大輔

さくらの花に送られて毎年何名かが社会へと育っていきます。昭和29年7月に開所しました光海学園も60有余年、450人あまりの人々を社会に送り出してきた歴史があります。日々の生活を楽しく送ることに賢明な児童たちは、施設をでて「こうしていきたい」という自分自身の青写真を描ききれないため、支援をする職員が一緒になって考えていける基礎づくりを、早い段階から少しずつ本人と話していくこともこれからは必要なことだと思っています。光海学園は生活している児童たちが明るく、元気にそして楽しく社会の中で生活していけるように職員が少しでもその力になれるように、児童たちへの支援を一つ一つ着実に、がんばってやっています。

児童たちは笑ったり、喧嘩したり、大声を出して話をしたり表情豊かな生活を毎日送っています。児童たちが持っている「無邪気さ」はここにくればいつでも触れることができます。また「素直な気持ち」はここにくればいつでも感じるすることができます。「素敵な笑顔」もここにくればいつでも見るすることができます。そんな施設をいつでも、これからも続けていけたらいいなと願っています。



所長(兼務)
河辺邦夫

デイセンター永耕 障害者日中活動支援

生活介護：定員 60 名
TEL:0465-42-8889

デイセンター永耕は日中の生活や自立に向けた活動の支援を行う施設として平成14年4月に開所しました。現在、定員60名の生活介護事業所として、受注作業（ボールペンの組み立て）や自主生産作業（陶芸、パン、農園芸、手芸等）の活動を通じて支援しています。一人ひとりが目標に向かって笑顔で過ごせるセンターを目指しています。お手伝いをしてくださるボランティアさんも募集しています。

デイセンター永耕では、利用者さん一人ひとりの個性に合わせ様々な日中活動を提供しています。また、利用者さんに楽しい生活を送って頂くために、レクリエーションやクラブ活動なども多く取り組んでいます。



▲かわいい陶芸作品も作っています♪

▼外園芸で作った新鮮野菜！



楽しい全体レクリエーション▲

◀クラブ活動の書道教室



ういず 相談支援センター

相談支援事業

TEL : 0465-42-1151（相談窓口）

相談支援センターういずは、障がいをお持ちの方が福祉サービスを利用するために必要な、サービス等利用計画・障害児支援計画の作成と、施設や病院から退所・退院され地域での暮らしを始める方へのご支援（地域移行支援）や暮らし続けていくためのご支援（地域定着支援）を行っています。また、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町から障害者相談支援事業の委託を受け、「おだわら障がい者総合相談支援センター“クローバー”」に相談員を派遣し、この地域にお住まいの何らかの障がいをお持ちの方やそのご家族、関係機関の方々からのご相談に応じております。



所長 近 文子

永耕会ホーム

あすなろ・上千代・青空・永耕会第一ホーム・永耕会第二ホーム

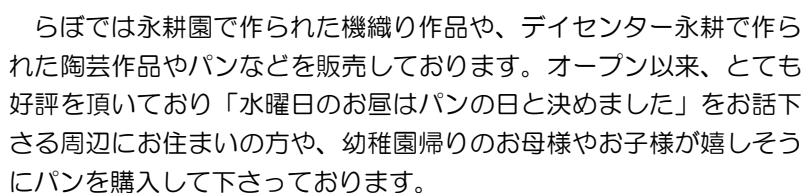
共同生活援助 定員:あすなろ9名・上千代7名・青空3名・第一ホーム（おちゃの実6名：なかまたち6名）・第二ホーム10名

永耕園入所者の地域での生活への移行を進めてきました。平成26年12月永耕会第一ホームを隣接する永塚328-3に開設し、女性6名男性6名が入居。平成27年10月永塚289-1に女性3名、男性7名が入居し生活を始めました。また、千代204-4に男性7名が生活する上千代ホームを運営しており、平成28年12月に曽我原寮はあすなろホームとして男性9名の定員で千代303-2に移転しました。令和元年7月、新たに定員3名の青空ホームを開所しました。

あすなろ外観▶



◀永耕会第一ホーム外観



永耕会ホームページも、ご覧ください♡♡♡  永耕会 <http://eikou-kai.or.jp/>

永耕園作業グループはたおりの活動内容や作品の紹介なども詳しく案内されています。どの作品も素晴らしい
渾身の作に仕上がっています
ので、是非ご覧ください。

 **永耕園はたおり**  糸を染め、手で織り、
製品をつくっています。



 編 集 後 記

平成 28 年に起きた「津久井やまゆり園」の事件は、私たち障がい福祉に関わるものにとって大変ショッキングな事件でした。二度と繰り返してはなりません。私たちに必要なのは「不審な侵入者を防ぐ高い塀」ではなく、地域の方々との豊かで強い絆ではないかと思っています。障がいの有る無しにかかわらず、自分らしく生きる事の出来る地域、社会でありたいと思います。

永耕会だよりをお読みいただきありがとうございます。これからも、永耕会は地域の皆様と共に歩んで行きたいと思っています。ご意見、問い合わせ、情報などあればおよせください。(河辺)

メール : info@eikou-kai.or.jp 電話 : 0465-42-2268